中年アマチュアギタリストの話

随筆

富士ダイス㈱ 執行役員
技術開発本部 開発センター長
篠宮 護

先日、ＳＮＳを通じて面識のない北海道在住の男性からメッセージ付きの友達リクエストが届いた。どうやら、私がＳＮＳでフォローしているハードロックバンドや、以前投稿したギターの写真を見てのことらしい。北海道、男性、40代…。やや迷いはしたものの、せっかく連絡いただいたのだからと、こちらもメッセージ付きでリターンした。

年はひとまわりくらい私の方が上だが、お互い大好きなギタリストが共通しており、３～４往復のやり取りとなった。その方を仮にＡさんと呼ぶが、Ａさんは北海道でアマチュアバンド活動をしており、演奏するのは前述したギタリストのいるバンドの曲が中心のよう。この演奏がなかなか難しい。バッキングは何とかコピーできるが、リードソロとなると、超速弾き、タッピングなどのオンパレードとなる。ＳＮＳ動画で、ライブ前のＡさんの練習風景を拝見するが、「うまい」、とりあえず「いいね！」と素直に尊敬している。

私はと言えば、高校時代にバンド活動していたが、残念ながらその後は音楽性が一致する人にめぐり会えず、活動はしていない。時々、助っ人としてスタジオに入り、これまたほぼ一夜漬けでコピーした流行りの曲を（不本意ながら？）演奏したりしていた。今の会社に入ってからもそれは同じで、アイドルのヒット曲、スタンダードナンバー、老若男女が一度は耳にしたことがある曲を忘年会などで披露することなく、標準スピードソロ100％に対し、50％に留まっている。一度だけ、ディストーションが利いた〝バリバリ〟のインストフレーズ）も、キーを変えることなく、標準スピードソロ100％に対し、50％に留まっている。一度だけ、ディストーションが利いた〝バリバリ〟のインストリまである。このような環境があるが故に、バンド活動せずとも、独りヘッドフォンをして楽しんでいる。

愛用のギター

最近、三十年くらい前に演奏していたトルメンタルを披露したが、聴いていた方々に引かれたのは言うまでもない。

バンド活動こそしていないが、ギターはそれなりに継続している。最近はスマートフォンのアプリが充実しており、ギターをスマホに繋げれば、音作り（エフェクト）や録音までできる便利な時代となった。また、速くて聞き取れない音源（フレーズ）も、キーを変えることなく、標準スピードソロ100％に対し、50％ダウンで再生できるアプリまである。このような環境があるが故に、バンド活動せずとも、独りヘッドフォンをして楽しんでいる。

最近、三十年くらい前に演奏していた曲のやり直しを始めた。当時はそれなりに指も動き、カタチにはなっていたと思うのだが、難しい部分についてはフィーリングと言う便利な言葉で自分を納得させていた。この年になり、何事も基本が大切であることを痛感し、テクニックとして、あらためてオルタネイトピッキング、ハンマリング、プリング、トリル、チョーキング、ピッキングハーモニックス、スウィープ奏法などなど、課題曲を通じて練習する日々だ。

当面の目標は、ＳＮＳに演奏の一部を投稿し、Ａさんから「いいね！」をもらうことである。